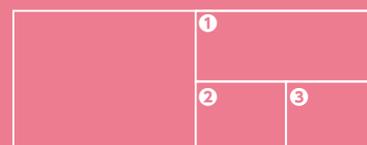




次世代

成熟と成長がバランスする活力ある社会へ

わが国における少子・高齢化の進展、グローバル化の進行に伴う貧富の格差の拡大など、活力ある持続可能な社会の実現には、国内外で解決すべき課題が数多く残っています。社会の次世代を担う若年層の育成、性別や国籍等にとらわれない真のダイバーシティの定着等、誰もがいきいきと活躍できる次世代社会を実現するために、私たちは国内外で金融リテラシーの向上、グローバルな人材育成、健全な金融市場育成等に貢献してまいります。当社グループは、『次の世代もいきいきと活躍できる活力の実現に貢献する金融サービスグループ』を目指していきいきと考えています。



- ① 福島県いわき市における中学生向け金融経済教育施設への協力
- ② 小学生が実際の銀行業務を学び、体験する銀行見学会の開催
- ③ ワークライフバランスの観点から、子どもたちや家族が従業員の働く職場を訪問するイベント

資産・事業の次世代に向けた承継サポート

資産を次の世代へ

2013年6月より三井住友銀行では、祖父母世代から孫世代への教育資金の贈与を支援する個人向け預金商品「普通預金(教育資金贈与非課税口)」の取り扱いを開始しました。本商品は、2013年度税制改正で創設された「教育資金の一括贈与に係る贈与税の非課税措置」に対応するもので、本制度に対応した預金商品の取扱いは、都市銀行では初の試みとなります。

お客さまのニーズにあわせた承継にかかわるサポート

みなと銀行では、経営者の皆さまの重要な課題の一つである事業承継について、それぞれのお客さまのニーズや課題にあわせたサポートメニューをご提供しています。

- ① 事業承継コンサルティング業務
- ② M&Aアドバイザリー業務
- ③ 資本政策面のサポート
- ④ 後継者の育成、異業種交流のサポート

VOICE



一つひとつオーダーメイドで 事業承継をサポート

みなと銀行 支店サポート部
事業サポート部/調査役

芦森 健明

事業承継は、資産や人物構成などの客観的な条件が全て同じでも、人間関係一つで対策が変わるなど、非常に繊細な経営課題です。そのため一つひとつオーダーメイドでの対応が求められます。超高齢社会が問題となる中、事業承継支援は金融機関の重要な役割の一つであり、担当者として法律や税務面の知識向上に努め、お客さまのご希望をよくお聴きし、関係者の方々の心情も充分考慮しながら、より良い解決策をご提案してまいりたいと思います。

新興国における金融市場育成への貢献

ミャンマーにおける金融人材育成に関する取り組み

三井住友銀行は2013年12月に、現地の銀行業界団体である「ミャンマー銀行協会 (Myanmar Banks Association)」と、金融人材育成に関する覚書を締結しました。現在ミャンマーでは、経済改革の進行に伴い金融人材の育成が急務となっています。そこで三井住友銀行は本提携に基づき、2014年9月までに計12回、現地の銀行員向けに各種研修を実施しました。研修は当行従業員を含め内外から講師を招いて、貿易金融、拠点マネジメント、融資基礎、監査、会計、ネットバンキング、マイクロファイナンス、

プロジェクトファイナンス、銀行間取引等多岐にわたるテーマに関し実施し、延べ500名以上が研修に参加しました。当行の取り組みがミャンマーの銀行業、ひいては社会インフラとして、ミャンマー経済の発展支援につながることを願っています。

VOICE



金融人材の育成で ミャンマー経済の発展を 支える

三井住友銀行 ヤンゴン出張所長

森井 芳幸

ミャンマーは民主化や経済改革が進み、社会が大きく変わろうとしています。その中で、経済の基盤である銀行業界の発展も目覚ましく、地場銀行の支店数の増加とサービスの近代化が同時に進んでいる状況です。しかしながら、日進月歩でさまざまな仕組みが進歩する一方、それを担う金融人材の育成が追いつかないことが課題となっています。このような中、三井住友銀行と地元銀行協会との共同での取り組みには、現地経済界からも感謝の声と大きな期待が寄せられています。



ミャンマーの銀行員向けに各種研修を実施

金融リテラシーの向上

いわき市における中学生向け教育施設への協力

三井住友銀行では、「夏休み子ども銀行たんけん隊」に加え、各支店で随時小学生から高校生まで職場見学の受け入れを行っているほか、小学生向け書籍「銀行のひみつ」の発刊、お仕事体験タウン「キッザニア」への協賛、中学生向けの経済教育プログラム「品川ファイナンスパーク[※]」への協力など、幅広く金融経済教育活動に取り組んでいます。

2014年6月、品川に引き続き、福島県いわき市にて新たに開所した施設にもブースを出展しました。本施設は、東日本大震災からの復興のため、中東のカタール国が立ち上げた基金から拠出されたもので、被災地の子どもたちが社会の仕組みや経済の働き、意思決定について学び、社会的自立力を身につけ、社会の復興に役立てることを目的としています。

※ 年齢、年収、家族構成などの与えられた設定に応じて日常生活設計に関する意思決定を疑似体験させる、中学生向け体験学習施設。主催・運営は米国母体の経済教育団体「公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本」



いわきファイナンスパークでの授業風景

さまざまな世代に向けた証券知識普及への取り組み

SMBC日興証券では、これまで蓄積してきた金融のノウハウを活かし、将来を担う次世代の若者たち、子どもたちに向けて金融経済教育の啓発活動を積極的に行っています。

小学生とその家族に対しては、夏休み期間に実体験型の社会学習プログラム、日興「家族でワクワク体験DAY」を2006年から全国の本支店で開催しています。2013年度は1,912名(子ども1,089名、大人823名)にご参加いただきました。

大学生に対しては、グループ会社の日興フィナンシャル・インテリジェンスと協力して、大学や大学院に金融経済、証券投資等に関する講座の提供や社員の講師派遣を行い、学生たちに一般教養としての証券知識を身につけていただけるよう2001年より支援しています。2013年度は21大学、21講座を担当しました。

学生・一般の方に対しては、金融や経済に関する知識を深めていただくために1998年より企業見学・研修を行っています。プログラムを通じ、私たちの生活とお金、金融機関の役割や金融取引に関するさまざまな知識が身につくよう、分かりやすく解説しています。

健全なコンシューマーファイナンス市場の形成を目指して

SMBCコンシューマーファイナンスでは、多重債務の抑制、金融トラブルの未然防止に資する金融経済教育活動の実施などを通じ、安心と安全が高まり、健全なコンシューマーファイナンス市場の維持・拡大に寄与することを目指しています。

主に「お客様サービスプラザ」が中心となり、小学生を対象にお金の成り立ちや役割について学ぶ「カードゲーム/お金の役割」や、学生・社会人を対象とした金融経済教育セミナーを実施しています。2013年度1年間で合計2,740回開催し、126,270名の方に参加いただきました。



SMBCコンシューマーファイナンスによる学生・社会人向けセミナー

VOICE



社会やお客様のニーズに応えるために

SMBCコンシューマーファイナンス
梅田お客様サービスプラザ

田池 寿里

全国18カ所の「お客様サービスプラザ」では、社会やお客様のニーズを感じ取り、それらにお応えしていくための地域に根ざした活動を行っています。その中で、家計診断などのご相談や、未来を担う学生や地域の方々に向けたお金に関する知識・判断力の習得支援等を通して、社会とともに持続的に発展していくことを目指しています。お客様や受講者の皆さまにとって有意義なものとなるよう、日々工夫を凝らして取り組んでいます。

若年層やグローバル人材の育成

社内のグローバル人材育成

三井住友銀行では、国内勤務従業員の海外勤務経験者拡充、語学力強化、本店主導のナショナルスタッフ向け研修拡充という観点から、育成を中心とした施策を推進してきました。海外勤務従業員についても、「アジア研修室」等を通じ、本店での集合研修や各地域での研修プログラムを提供する等、人材育成に取り組んできました。

2014年度からは人事部に「グローバル人事室」、人事部研修所に「グローバル研修グループ」を新設し、「真のグローバル化」の実現に向けて、育成も含めた人事面全体の体制を、海外拠点も含む全行的な観点から整備し、推進していきます。

三井住友ファイナンス&リースでは海外業務に携わる国内従業員向けに、海外業務において理解しておくべき考え方を身につけるためにグローバル・マインドセット研修を開催しています。

また、海外ナショナルスタッフの育成にも注力しており、海外全拠点から数名ずつ日本に招き、一堂に会した海外ナショナルスタッフ集合研修を開催しました。本社の関係各部も参加し円滑なビジネス推進に向けたディスカッションの場を設け、本社各部と海外拠点とのコミュニケーションの促進を図りました。



三井住友ファイナンス&リースのナショナルスタッフ向け「リーダーシップ研修」

更に、グローバルマインドの早期醸成を目的として、今年度は新入社員研修に英国様式の生活環境を再現した施設で使用言語を英語に限定した宿泊型プログラムを組み込むとともに、海外ナショナルスタッフ新入社員との合同プログラムを約1ヵ月間実施しました。語学力向上についても、会社支援の語学学校通学制度を年々拡充しています。

財団を通じた取り組み

米国を本拠とするSMBC GLOBAL FOUNDATIONは、1994年よりアジア各国で学ぶ大学生6,000名超に奨学金を支給しています。また、ニューヨーク市ハーレムの高校が主催する日本研修旅行の支援、学校の美化活動への三井住友銀行従業員によるボランティア参加、同従業員が行う寄付への財団からの同額寄付等を実施しています。

三井住友銀行国際協力財団は、開発途上地域の経済発展に資する人材の育成および国際交流を目的とし、1990年の設立当初より、アジアから日本の大学院へ進学した留学生、毎年7～8名を対象に奨学金を支給しています。また、開発途上国の経済発展に資する活動を行っている研究機関・研究者への助成を行っています。



SMBC GLOBAL FOUNDATIONを通じたベトナムの学生への奨学金支援

ワークライフバランスとダイバーシティ

当社グループでは、性別・国籍などを問わず、さまざまな人材が活躍できる職場づくりに取り組んでいます。三井住友銀行では、2008年4月に人事部内に「ダイバーシティ推進室」を設置し、多様性を強みとする企業風土の醸成に取り組んでいます。

2013年2月、三井住友フィナンシャルグループが「なでしこ銘柄」に選定されたことをきっかけに、同年11月グループ合同で若手女性従業員を対象としたフォーラムを開催しました。フォーラムには東西約700名が参加し、宮田社長の講話やNPO法人J-Win理事長内永ゆか子氏による基調講演、SMFG各社で活躍する先輩女性従業員によるパネルディスカッションを通して、将来のキャリア・働き方について考えました。今後も定期的に開催予定です。



SMFG合同女性向けフォーラム